

# 都市解析、都市計画学、都市計画



東京工業大学 中井検裕

# イギリスの都市計画学術誌

---

## □ Town Planning Review

- 1910年創刊
- 本拠はDepartment of Civic Design, University of Liverpool
- 計画論、デザイン論

## □ Urban Studies

- 1964年創刊
- 本拠はDepartment of Urban Studies, University of Glasgow
- 都市解析、モデル分析

# 都市解析と都市計画

---

## □ 実証都市解析

- 都市の状態や変化の記述的解析
- 調査・統計学やシステム科学との結びつき
- コンピュータの発展、GISの発展
- 今では誰でもできる「都市解析」

## □ 理論都市解析

- 都市に関わる定理、法則の解析
- 経済学や数学との結びつき
- 理論モデルの発展
- 今だに(ますます)限られた人しかできない「都市解析」

# 都市解析と都市計画学

---

## □ 都市計画学

### ■ 都市計画という技術体系を支える学

- 対象である都市の状態や変化を正しく把握する
- 都市の状態や変化を理論的に説明する
- ゾーニングのような計画技術に客観的根拠を与える
- 計画を正当化する哲学と思想に根拠を与える
- …

## □ 都市解析は現代都市計画学の先鞭

- 経験と一部の英明プランナーの発想に頼っていた都市計画に客観的根拠を与えたという功績
- 都市計画の一般化と「人文」都市計画からの別離
- ScienceとEngineeringの幸福な関係

# 都市解析への期待

---

## □ 都市解析への批判

- 計画主義の理論的バックボーン
- トップダウン、上から目線
- 使えない、現場との距離感

## □ 都市を取り巻く状況の変化

- 前提の変化、例えば人口減少時代の到来
- 変化スピードの増大、将来の不確実性
- 価値観の多様化、計画主義の崩壊
- ボトムアップの意思決定

# 都市解析の未来(ほんの一例)

---

- ボトムアップへの対応
  - 個人の行動原理
  - ゲーム理論、進化ゲームシミュレーション
- 価値観の多様化への対応
  - 例えば、都市の「美しさ」の解析
- 数理モデルの抽象空間から実態空間への回帰
  - 実証都市解析との関係回復
- 新しい計画論への対応
  - 人文科学との連携